

文部科学省特別選定
少年、青年、成人、家庭向き

存在を否定され、死ぬ自由を突き付けられ、
それでもなお地域社会に分け入っていく勇敢な呼吸器ユーザーたち。
今までこんな風に見たことはなかった。
存在理由を獲得していく彼らの姿が逞しく眩しく映っていた。
世界を救うヒーロー・ヒロインに見えてきた。
川口有美子 【作家・日本 ALS 協会理事】

「出来ないことがすごくたくさんある中で、
障害者が出来る大きい仕事っていろいろは、
外に出て人目について、
人の意識の中に障害者の存在を
ちよつとも根付かせていくこと」

人工呼吸器は、呼吸を助ける道具です。
そこから吹いてくる風が、人と人とをめぐり合わせてくれます。

風は生きよという

追い風は、ときどき前からふいてくる。

もしもあなたが、病気や障害のために身体を動かさなく
なったとしたら、どんな人生を想像しますか？

映画が映し出したのは、ふつうの街でふつうの生活を送る人びと。
特別なことといえば、呼吸するための道具・人工呼吸器を使用している
ことくらい。淡々とその生活を映し出し、歩んできた人生を見つめた時、
浮かんできたのは日常の尊さ。たくさんの支援が必要だからこそ、多くの
人に出会え、自由に動くことができないからこそ、生きてあることに感動する。
じんわりとところを揺する、人と人とが織りなす物語。

もしもあなたに、思うように身体を動かさない、そんな日が来た時は思い出してほしいのです。映画の中を駆け抜けていた、風の音を。その風に包まれた人と人とが、支えあ
いながら生きていたことを。

～上映会・講演会～

平成29年3月12日（日）13:30

稲城市地域振興プラザ 4階会議室

第1部 映画上映 13時30分～15時00分（開場 13時00分）

第2部 講演会 15時20分～16時00分

講演者 自立生活センター・北

代表 小田 政利 氏

費用：無料 定員：50名（先着順）

申し込み／問い合わせ

稲城市障害者総合相談センターマルシェいなぎ 電話：042-379-9234 FAX：042-379-9240

会場のアクセス方法

JR稲城長沼駅より 徒歩約15分
京王稲城駅より 徒歩約10分

